

東京は冷え込む日があったかと思えば、
春のような日もあり、体調には気をつかいます。
学生も教職員も元気に卒業シーズンを迎えたいものです。

◆ 第36回日本語弁論大会 大阪にて対面開催

2月5日、本協会主催の「第36回全国専門学校日本語学習外国人留学生日本語弁論大会」が大阪 YMCA 国際文化センター内のホールにて開催されました。13名のスピーカーが素晴らしいスピーチを披露し、応援の学生と共に会場は大いに盛り上がりました。今日はその様子をお伝えします。



平岡憲人大会実行委員長

本大会の実行委員長は 清風情報工科学院 の
平岡 憲人 理事 が務めました。開会の挨拶では
「おおぜいの人の前でスピーチをすることは緊張
することだと思いますが、それを乗り越えていい
スピーチができる人になってほしいと思います。
そしてスピーチをみんなで聞いて、応援して、い
いスピーチ大会にしましょう」と成功に期待を込
めた言葉でスタートしました。

当日司会の二人からも紹介がありましたが、大会の開催にあたっては、以下の
団体、企業にご協力いただきました。改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

ご後援 文部科学省
日本私立大学協会
全国専修学校各種学校総連合会
(一社) 大阪府専修学校各種学校連合会
(公社) 日本語教育学会
(一財) 日本語教育振興協会
ご協賛 (株) 東京教育公論
(株) 凡人社
(株) ライセンスアカデミー

◆ 文部科学大臣賞の栄冠は ^{タ マ シ} TAMANG ^{ア ス ミ} ASMIさん

(福岡外語専門学校) に！



最も優れたスピーチとして文部科学大臣賞に輝いたのは、福岡外語専門学校の^{タ マ シ} TAMANG ^{ア ス ミ} ASMIさん（ネパール）でした。おめでとうございます！

「本当の幸せは何だろう」（要旨）

子供のころ、祖父母が教えてくれたことがあります。それは、「困っている人を助けること、周りの人に親切にすることこそ幸せだ」ということです。当時はこの言葉の意味がよく分かりませんでしたが、高校生の頃はボランティアで子供たちに護身術や読み書きを教え、親切にすることの良さを感じつつありました。

高校卒業後留学のため来日しましたが、食生活の変化により改善していた持病が悪化しました。どの病院を受診すればいいかわからず不安だった時、アルバイト先のマネージャーが病院を探し付き添ってくれ、病気で落ち込んでいたところを慰めてくれました。この時の恩は決して忘れることはありません。

親切にする側・される側、双方の経験をしたことで、祖父母の言葉の本当の意味に気づきました。親切にしてそこで終わりではなく、相手の笑顔や感謝の心が返って来て、結果的に幸せに感じるということです。この発表で皆さんが自分の幸せについて考えるきっかけになってくれたら嬉しいです。

TAMANG ASMI さんの人を思いやる心、人柄が伝わってくるスピーチでした。



◆ 外務大臣賞は ^{ト ー マ ス テ ィ ア ゴ ダ コ ン セ イ サ オ ン} TOMAS TIAGO DA CONCEICAO

^{エ ス テ ヴ ァ オ ン}

ESTEVAOさん（モザンビーク）

ECC 国際外語専門学校

外務大臣賞は、国際的な内容や自国と日本の発展に寄与する内容のスピーチで最も優れたものに贈られます。



「日本での成長」(要旨)

私の名前は「湖のように大きな人になる、自分を超えてあきらめない人になる」という意味です。私は自分の名前にふさわしい人になりたいと思っていました。

私は宣教師なので、様々な国の人々と交流したいと考え、日本に参りました。しかし、現実には予想していたものとは全く違いました。日本語はとても難しく、私は夢をあきらめて帰国することを考えました。そんな時友達の「がんばればできるよ」という言葉が私にあきらめない勇気を与えてくれました。それから、私は積極的に日本語で話す場所に行き、たくさんの日本語に触れました。そして今では、多くの人と交流できるようになりました。日本語で人々とつながることで私自身と私の夢がつながりました。

私は日本でも宣教師として人々の幸せを助ける仕事ができることを望んでいます。私がずっと日本にいるのかそれとも他のところに行くのか、それは神のみぞ知ります。

最後に先生方や仲間に深く感謝しています。



夢をあきらめずがんばった甲斐あって、
見事に日本で成長した姿を披露しました。

そして、歴史ある**会長賞**のカップを手にしたのは、大阪 YMCA チュウロンヘイ 国際専門学校の 朱 朗熹さん（中国香港）でした。



「できることとできないことの間で」(要旨)

その難しさから3年間練習したフルートを手放し、ハーモニカを選びました。今でもハーモニカが私の原動力となっています。

その経験がこれから学ぶ舞台演出という専門を選択することにもつながりました。できることとできないことの間で悩んだ先には、がんばり続けるだけでなく、それを手放し身を引くという選択があることも忘れないでほしいと思います。



文部科学大臣賞

「本当の幸せは何だろう」 タ マ ン ア ス ミ TAMANG ASMI (ネパール) 福岡外語専門学校

外務大臣賞

「日本での成長」 ト ー マ ス テ ィ ア ゴ ダ コ ン セ イ サ オ ン エ ス テ ヴ ァ オ ン TOMAS TIAGO DA CONCEICAO ESTEVAO
(モザンビーク) ECC 国際外語専門学校

会長賞

「できることとできないことの間で」 チュウロンヘイ 朱朗熹 (中国香港)
大阪 YMCA 国際専門学校

続いて、優秀賞3名、審査員特別賞2名のご紹介です。

優秀賞

「物語について」
モ ル フ ィ ン キ ー ラ ン ジ ョ ナ サ ン
MORFIN KEELAN JONATHEN (フランス)
麻生外語観光&ブライダル専門学校



「剣道と成長」
パ ン ス キ ク コ ン ス タ ン テ ィ ン
PANSKIKH KONSTANTIN (ロシア)
横浜デザイン学院



「一步を踏み出す怖さは…」
ヴ ー ミ ン タ ン
VU MINH THANH (ベトナム)
清風情報工科学院



審査員特別賞

「他人の目が怖いです」
イ マ デ ト ウ グ ー マ ヘ ン ド ラ
I MADE TEGUH MAHENDRA (インドネシア)
文化外国語専門学校



「家族のかたち」
チ ャ ン ヴ ィ ラ イ ビ ン ス バ ー
CHANVILAY PHINNOUPHA (ラオス)
外語ビジネス専門学校



惜しくも受賞を逃したものの、最後までしっかりと話し切った
スピーカーの皆さんには「奨励賞」として賞状を贈呈いたします。
会場では、大阪バイオメディカル専門学校の^{グ エン ティ キム}NGUYEN THI KIM
^{ホ ア}HOAさんが代表で賞状を受け取りました。



奨励賞

『「空気を読む」』という言葉を知っていますか？

^{グ エン ティ キム}NGUYEN THI KIM ^{ホ ア}HOA (ベトナム)

大阪バイオメディカル専門学校



「涙の物語」

^{ジュ}朱 ^{ゲツリン}月輪 (中国)

神戸 YMCA 学院専門学校



「人生の楽しみ」

^{マ シ ュー}MATTHEW ^{ピー コック}PEACOCK (イギリス)

関西外語専門学校



「私のアルバイト (松屋)」

^{サ ブ コタ}SAPKOTA ^{サ ビ ナ}SABINA (ネパール)

メディカルエステ専門学校



「他人と違って大丈夫」

^{レン}連 ^{ズシン}之新 (台湾)

大阪 YWCA 専門学校



コンテストということで順番をつけ
ざるを得ないのが心苦しいと審査員の
先生方が話されていた通り、どのスピ
ーチも心に響きました。それは、会場
に集まった皆様がスピーチが終わるご
とにどのスピーチにも大きい拍手を送
っていたことからわかりました。

長時間にわたる審査をご担当してくださったのはこちらの5名です。

審査員の先生方

○文化庁国語課 地域日本語教育推進室長 **福田 和樹** 先生

○公益社団法人日本語教育学会 理事

独立行政法人国際交流基金 関西国際センター 日本語教育専門員 主任

熊野 七絵 先生

○立命館大学 法学部 教授 **遠山 千佳** 先生

○関西学院大学 神学部 教授 **浅野 淳博** 先生

○株式会社凡人社 取締役 **田中 美加** 先生

審査員の先生方からのご感想を簡単にご紹介します。



文化庁国語課の **福田 和樹** 先生は「皆さんのスピーチは本当に立派で、日本語を担当する文化庁の国語課にいる者として非常にうれしく思いました。」とお話しになり、言葉というのはどんどん変化していくものだというお話に続けて「スピーチをした皆さんが、また、会場にいる日本語を勉強している皆さんが、明日の日本語を作っていくんだという思いで日本語を大事にしていってほしいです」と留学生の皆さんに語り掛けられました。

日本語教育学会、国際交流基金関西国際センターの **熊野 七絵** 先生は「皆さんの経験を具体的にスピーチに織り込んで話していたことが、それぞれのオリジナリティーを生み出していました。日本語の表現の豊かさ、話し方を工夫してそれを伝えようとしていることが印象的でした。特に主張をはっきり伝えてくれたものには心が動かされました」と話されました。





立命館大学の **遠山 千佳 先生**は「私もつらいことがいろいろありますが、今日は皆さんのスピーチを聞いて励まされ元気になりました。留学生の皆さんはこれから大変なこともあるかもしれませんが、この経験を思い出して、これからも日本でがんばってください」と会場にいる皆さんにも励ましの言葉を贈られました。

関西学院大学の **浅野 淳博 先生**は「皆さんがスピーチで話された内容は皆さんの人生の一部です。ですから私達はそれを聞いて感動しないわけがありません。皆さんが素晴らしい主張を持ち、それを日本語で話されたことに喜びを感じ、このような体験ができて『ありがとうございます』という思いです」と温かい言葉で感想を話されました。



株式会社凡人社の **田中 美加 先生**は声の調子がすぐれず、登壇してお話にはなりませんでした。が、「対面で直接皆さんのスピーチが聞けたのがとてもうれしかったです。皆さんの言葉に感動し、充実した時間を過ごすことができました」とメッセージをいただいています。

また、大会の実行委員の先生方

浦上 昌弘 先生 ・ 渡邊 隆行 先生（清風情報工科学院）

川上 良太 先生（大阪 YMCA 国際専門学校）

永嶋 里香 先生（大阪 YWCA 専門学校）

柴田 栄子 先生（関西外語専門学校）

には、お忙しい中、当日はもちろん事前の打ち合わせやメールでのやり取りなど様々な形でお力添えをいただきました。大阪 YMCA 国際専門学校の **鈴野 利亜 先生**には当日のオンライン配信を担当いただきました。司会として頑張ってくれた リ シンギョウ 李辰 業さんと テ イ シ ャ ダ ナ ー ビ ョ ー THEINT YADANAR PHYOさん（清風情報工科学院）、オンラインでご覧になっていた方々を含めて、大会に参加されたすべての皆さんのおかげで素晴らしい弁論大会となりました。本当にありがとうございました。

次回の第 37 回は東京開催。こちらもいい大会になるようがんばります！！



3月18日（月）には、理事会、総会、総会企画を開催いたします。

詳細が決まりましたら、ご案内いたします。多くの方のご参加をお待ちしております。

2024年2月20日
全国専門学校日本語教育協会
ニュースレター担当